

宇治交配 サラダキャベツ

サラダに最適の極早生ミニボールキャベツ

特 性

- ① 定植後40～45日で収穫期となる超極早生のミニボールキャベツです。草姿は開張性で外葉はコンパクトに仕上がりますので、密植栽培に最適です。
- ② 球は、しまりながら肥大するタイプですので規格サイズになれば収穫できます。球重は600～800gとなり、葉質はやわらかで甘みに富み、サラダ用途に最適です。
- ③ 一般平坦地の春～夏まき、高冷地の初夏まき、暖地の早春～夏まきに最適です。また、ミニボールタイプとしては比較的抽苔が遅く、施設栽培やトンネル栽培にも適しています。



調理例：サラダキャベツのグレープフルーツとアーモンド添え

栽培のポイント!

- ① 生育期間が短いため、元肥中心の栽培とします。施肥量は元肥として窒素成分で10～15kg、追肥で窒素成分5kg程度とします。全量元肥の場合は化成肥料(N:10～15kg)と緩効性大粒肥料(N:5kg程度)を混合して施肥します。
- ② 株間は20～25cm、条間45cmとした場合の10aあたりの栽植本数は、7500～8000本となります。均一な株間とする事が、規格サイズを安定させるポイントです。
- ③ 低温期のハウス内温床育苗は徒長しやすいため、育苗後半は換気に努め、水やりを控えて良く締まった苗に仕上げます。又、春まき栽培は育苗期間が40～45日と長いこともあり、肥効の長い培土が適しています。



下記標準栽培表参考に貴地の気候に合わせて栽培してください。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
寒高冷地		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
中間地		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
暖地	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

● 播種 温床 育苗 × 定植 ☺ トンネル — 生育 □ 収穫